

横浜FCサポーターの観戦場所による 観戦行動の違いと今後の展望

桐蔭横浜大学

スポーツ健康政策学部 スポーツ健康政策学科

S20H042 大野麟太郎 指導教員 齋藤れい

目次

- 研究背景、動機
- 先行研究
- 研究目的
- 研究方法
- 結果、考察
- 結論

研究背景・動機

- ・ 初めてJリーグ観戦したのは高校生の頃、川崎フロンターレ

→ サッカーの面白さなどの競技性に魅力を感じる。



- ・ 友人に誘われ横浜FCの試合へ行き初めてゴール裏で大旗を振る

→ フロンターレよりも弱小であるがゴール裏の雰囲気自分に合っていると感じる。

(クラブによりゴール裏の雰囲気が異なる)



- ・ 横浜FCの観戦に通うようになる

→ 友人がきっかけとなりゴール裏でのコミュニティができる。

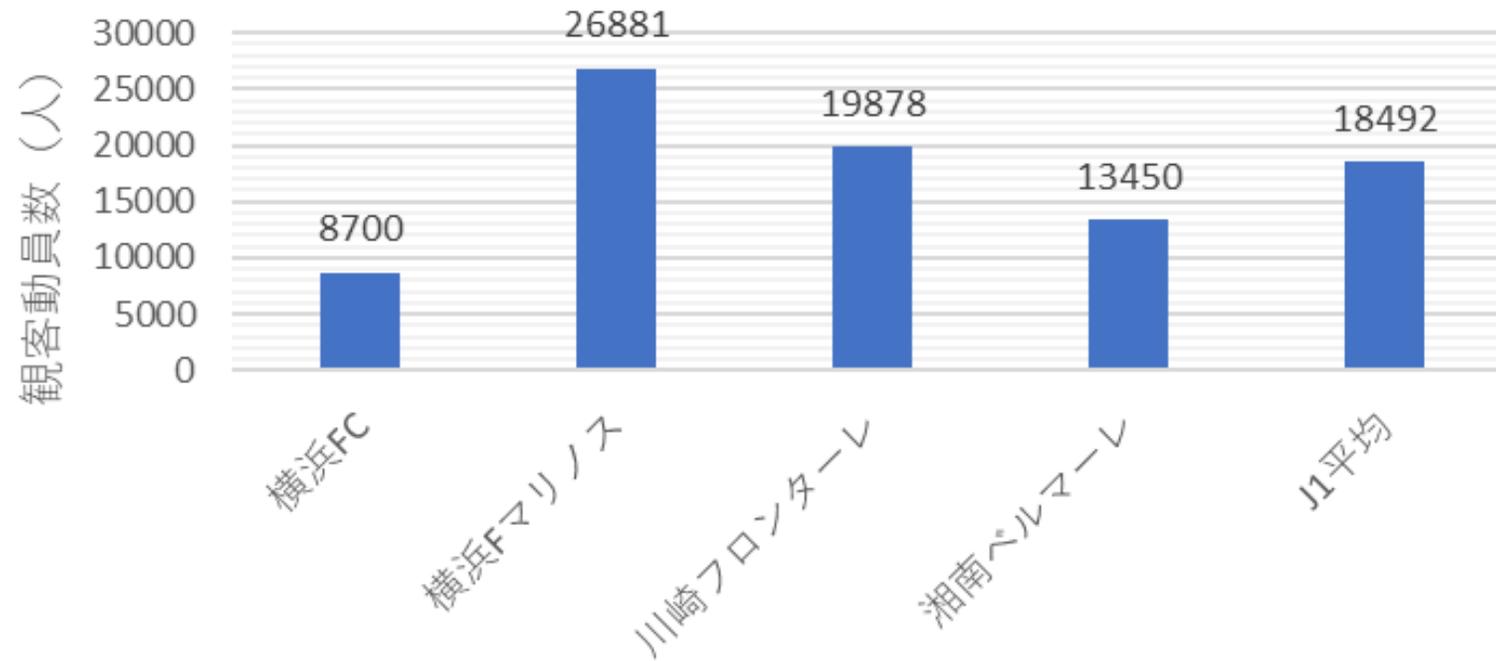


現状

- 横浜FCの観戦に通ううちに他クラブと比較して、応援をしている人が少なく空席も目立つように感じる
- 応援の音量で相手チームに圧倒されている試合もある

現状

22/23シーズンJ1リーグ
1試合当たりの平均観客動員数(10/1時点)



現状

観客動員数はJ1リーグで最下位に位置し、
ゴール裏で試合中に声に出して
応援している人が少なく
認知度や人気の低いクラブなのではないか

現状

- ▪ 過去に過激な横断幕を試合前に掲出したことなどのゴール裏団体が起こしてしまった問題などから偏見を持たれ、ゴール裏が怖いという印象を持たれている傾向にあるのではないか
- 神奈川県ではJ1リーグに4チーム存在し競合が多いこと
- 特殊な歴史はあるが浅いこと

特殊な歴史

- ・ 当時J1リーグに所属していた横浜フリューゲルスというクラブの出資会社であった「全日空」、「佐藤工業」が経営不振によりクラブの継続が困難になり同じ横浜をホームタウンとする横浜マリノスに吸収合併される形で消滅したことが関係している
- ・ ライバルチームへの吸収合併により応援をしていたクラブを突如なくした横浜フリューゲルスのサポーターの有志により現在の横浜FCの運営会社となる横浜フリエスポーツクラブが設立された（1999年・横浜FC設立）

研究背景

もっと多くの人に横浜FCを知ってもらいスタジアム全体で一体感を持った応援の雰囲気を作りたいと感じた。

その一歩として、まずは現在、横浜FCの試合を観戦しているサポーターの現地観戦動機について知る必要があると考えた。

先行研究

- スポーツの観戦の要因に関する研究は昔から行われてきた
- 松岡(2014)による研究などがあったが、
その中でも仲澤ら(2014)による研究では、Jリーグにおける
現地観戦要因について研究されていた

先行研究

仲澤ら(2014)による研究では、

「ドラマ性」「地域の誇り」「競技の審美性」

「選手への愛着」「サッカーへの愛着」「クラブへの愛着」

の6つ要因が示されていた。

また、この研究では「選手への愛着」が最も低く、

「クラブへの愛着」が最も高いことが明らかになっていた。

先行研究

仲澤ら(2014)6つの要因

「ドラマ性」・・・緊迫した最後まで結果のわからない接戦のこと

「地域の誇り」・・・応援しているクラブの地域での重要性などについて

先行研究

「競技の審美性」 ・ ・ ・ サッカーの質の高い試合
自体について表した要因

「選手への愛着」 ・ ・ ・ 特定の選手がいるから、
このクラブを応援している
というような要因

先行研究

「サッカーへの愛着」 ・ ・ ・ 特定のクラブや選手というよりも、第一にサッカーという競技自体が好きという要因

「クラブへの愛着」 ・ ・ ・ 特定の選手よりも、一つのクラブへの愛着を示す要因

研究動機

- ・ 先行研究では、観戦する座席による違いについてはあまり着目されていなかった
- ・ ゴール裏で観戦しているサポーターとメインスタンドやバックスタンドで観戦しているサポーターに観戦動機の違いがあるのか知りたくなり調査を行うこととした

研究目的

横浜FCの試合を各座席にて観戦している
サポーターの観戦要因や魅力について
明らかにすること。

研究方法

【調査対象者】

横浜FCの試合を観戦しているサポーター / 116名

【調査方法】

Questantを用いて、SNSで拡散し回答を募集した。

調査項目

対象者の特性	質問項目
1 性別	(男性/女性/その他)
2 年齢	(10代/20代/30代/40代/50代/60歳以上)
3 職業	(学生/主婦・主夫/会社員/公務員/その他)
4 居住地	(都道府県/市区町村)
5 座席	(メインスタンド/バックスタンド/ゴール裏/毎回異なる)
6 観戦する際の座席にて声を出して応援をされていますか	(声を出して応援している/声を出さずに観戦している)
7 声出し応援の有無について何か理由があれば教えてください	
8 観戦歴	(1年未満/1年以上2年未満/2年以上3年未満/3年以上4年未満/4年以上5年未満/5年以上6年未満/6年以上10年未満/10年以上)
9 1年間あたりのホームゲーム観戦頻度	(1試合から3試合/4試合から6試合/7試合から10試合/11試合から15試合/16試合以上)
10 1年間あたりのアウェイゲーム観戦頻度	(1試合から3試合/4試合から6試合/7試合から10試合/11試合から15試合/16試合以上)
11 ホーム年間チケットを購入していますか	(はい・今シーズンより購入している/はい・継続して購入している/はい・以前も購入していたことがある いいえ・一度も購入したことがない/いいえ・シーズンにより購入している)

調査項目

仲澤ら(2014)

ドラマ性

Q1.私は最後まで結果のわからない試合が好きだ

Q2.好きなクラブの試合では、試合のほとんどが一点差で続くような緊迫した試合が好きだ

Q3.好きなクラブの試合では、一方的な試合よりも接戦の方が良い

調査項目

地域の誇り

- Q1.横浜FCは、そのホームタウン地域の重要なシンボルである
- Q2.横浜FCは、そのホームタウン地域のステイタスを上げている
- Q3.横浜FCは、そのホームタウン地域のイメージを向上させている

調査項目

競技の審美性

Q1.どちらのクラブが勝つか、というよりも

質の高い試合を観ることの方が、大切だ

Q2.私は、試合中の選手たちの素晴らしいプレイを楽しんでいる

Q3.横浜FCの選手たちのテクニックが素晴らしいので、

横浜FCが好きだ

Q4.プロサッカーでプレイするために、選手たちに求められる

自己管理とトレーニングはすごいと思う

調査項目

選手への愛着

Q1.好きな選手（推し選手）が所属しているので、
応援するクラブを決めた

Q2.応援する選手を持つことは、応援するクラブを持つこと
よりも大切である

Q3.好きな選手（推し選手）がJリーグを去ったら、
Jリーグへの関心は弱くなる

調査項目

サッカーへの愛着

Q1.特定の選手やクラブのファンというよりも、
まず私はサッカーのファンである

Q2.一にも二にも、私はサッカーのファンだと思う

Q3.特定のクラブや選手に興味を持つよりも、
一つのスポーツとしてサッカーに興味を持つことの方が、
自分にとって大切だと思う

調査項目

クラブへの愛着

Q1.私は、横浜FCの熱心なサポーターだ

Q2.どのクラブが相手でも、横浜FCの試合が観たい

Q3.横浜FCがいつも低迷していたならば、

ファンであることを考え直すかもしれない

Q4.私は、まず横浜FCのファンで、次にサッカーのファンである

調査項目

クラブへの愛着

Q5.横浜FCがJリーグから去ったらJリーグへの興味は
なくなってしまうかもしれない

Q6.私は、横浜FCの選手よりも横浜FCというクラブが好きだ

Q7.私は、横浜FCの大ファンだと思う

調査項目

齋藤(2023)

Q1.様々なクラブがある中で、なぜ横浜FCが好きなのですか

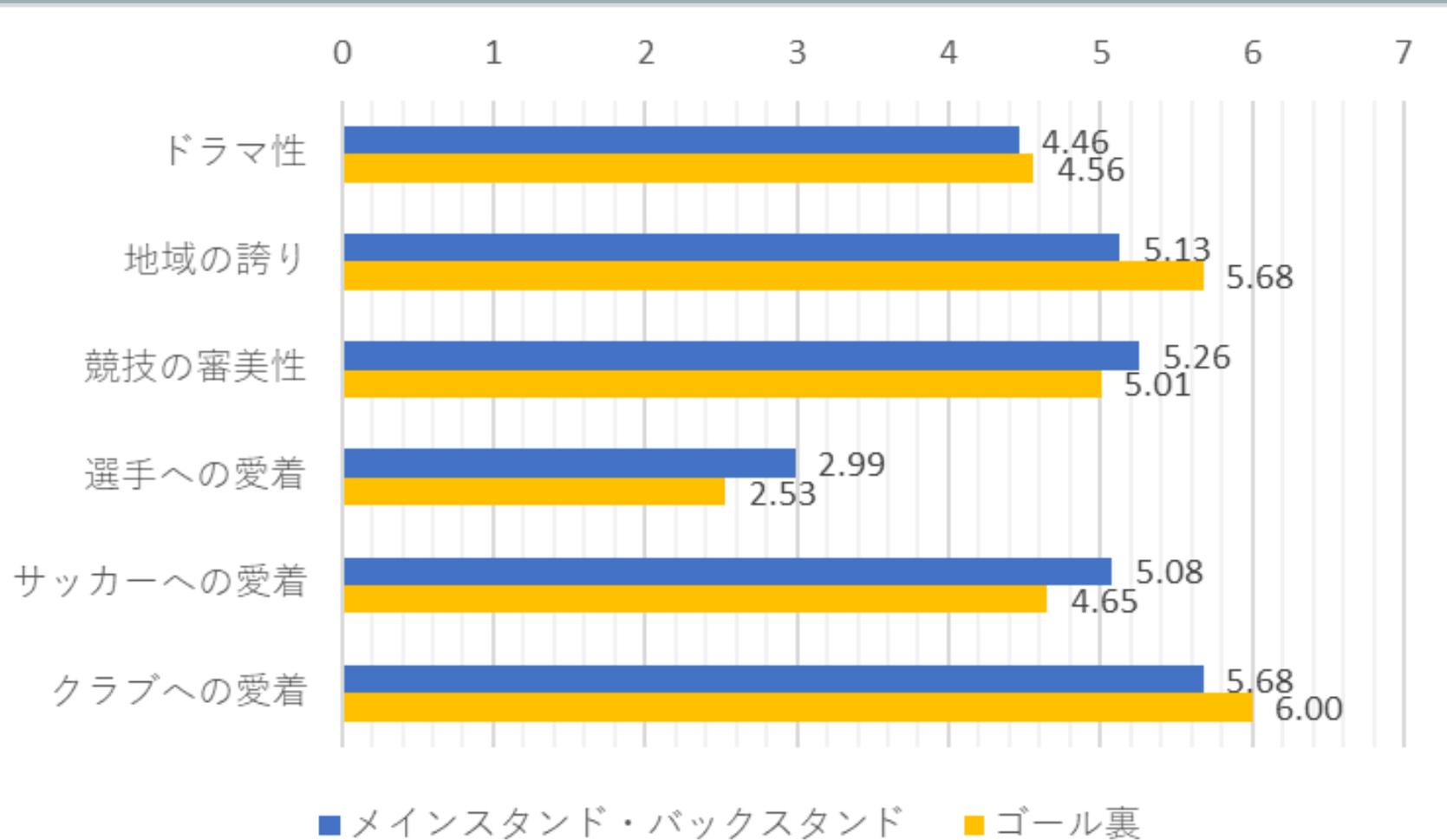
Q2.横浜FCを好きになったきっかけはどのようなことですか

独自調査

Q1.横浜FCのゴール裏の応援についてどのような印象を持ちますか

Q2.どうしたらゴール裏で声出し応援をする人が増えると思いますか

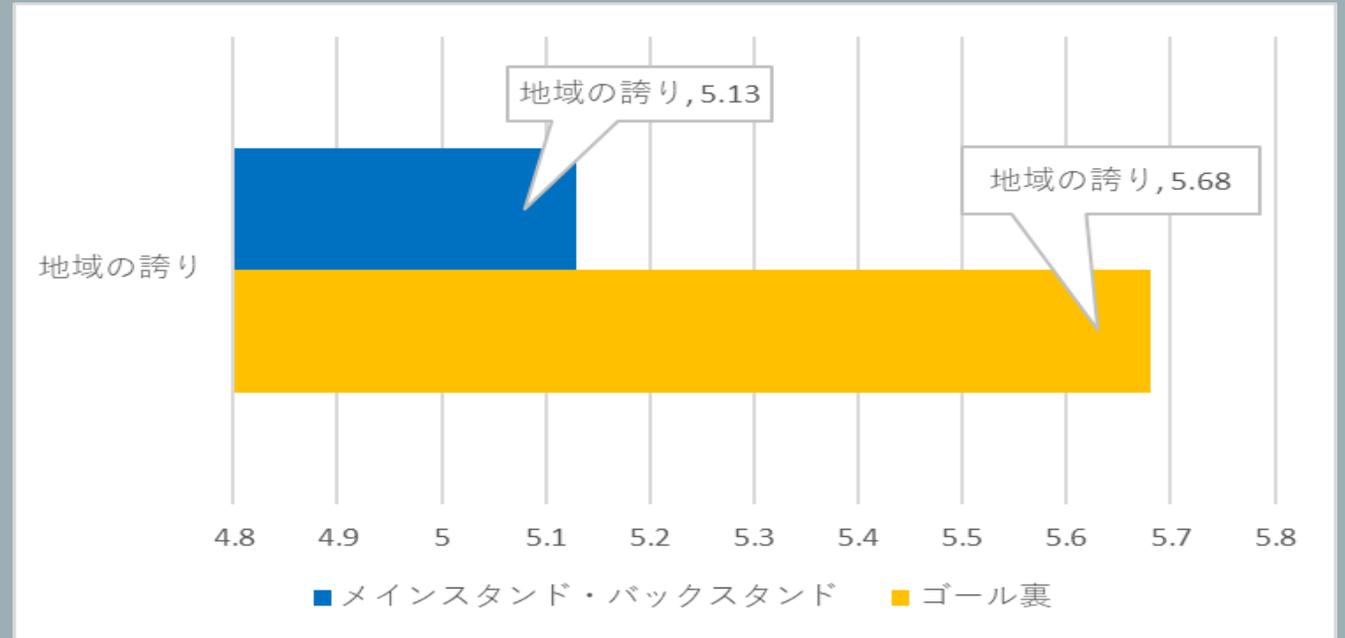
結果



結果

これらの調査結果をもとに、ゴール裏サポーターと
メインスタンド、バックスタンドで
観戦しているサポーターに分け、
IBM SPSS Statisticsを用いてt検定を行った。

「地域の誇り」 結果、考察



「地域の誇り」の

Q2. 「横浜FCは、そのホームタウン地域ステイタスを上げている」

Q3. 「横浜FCは、そのホームタウン地域のイメージを向上させている」

という2問において5%水準で有意な差が認められた。

「地域の誇り」 結果、考察

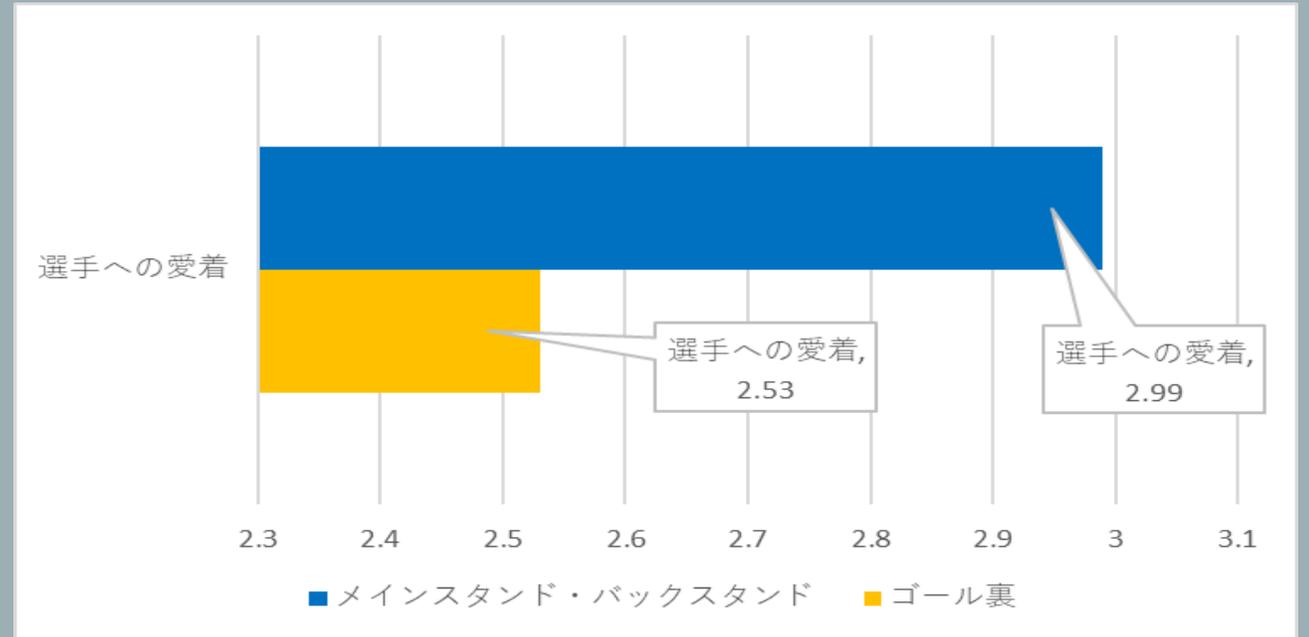
仲澤ら(2014)の研究において「地域の誇り」は「クラブへの愛着」

に正の影響を及ぼすと記されており、今回の調査結果から

ゴール裏で応援しているサポーターの方がよりクラブへの愛着が

強いと考察することができる。

「選手への愛着」 結果、考察



「選手への愛着」の

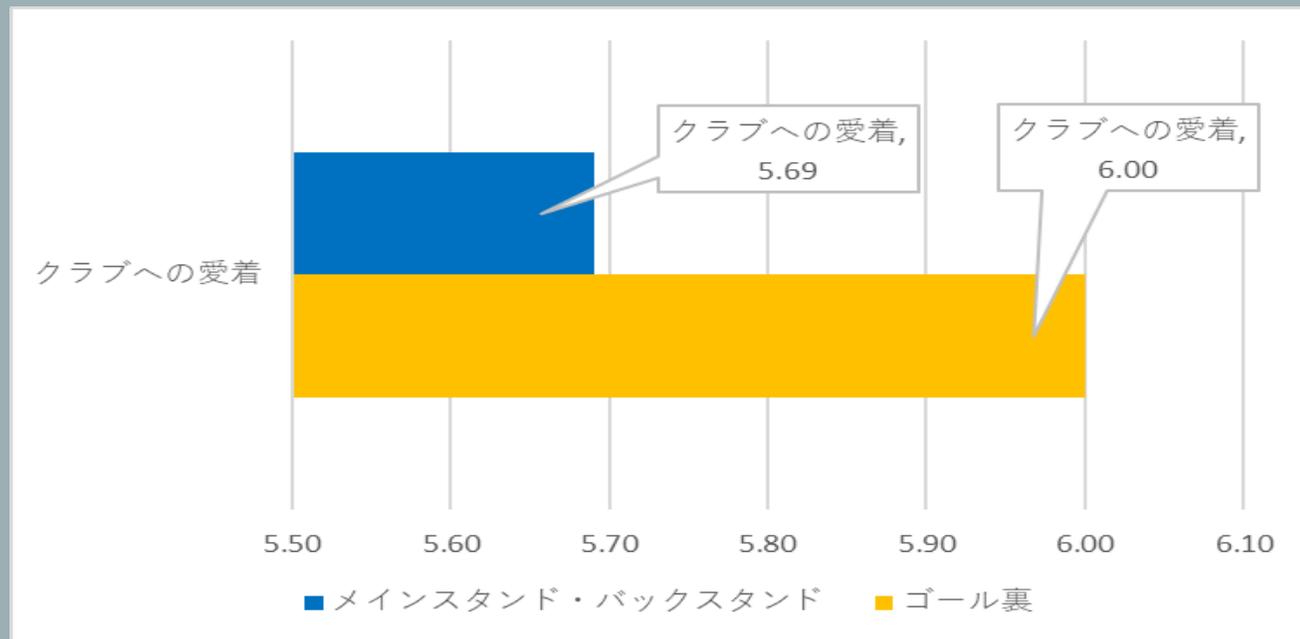
Q2. 「応援する選手を持つことは、応援するクラブを持つことよりも大切である」という項目において5%水準で有意な差が認められた。

また、Q1.Q3.においてもメインスタンドやバックスタンドで観戦しているサポーターの方が高い傾向にあった。

「選手への愛着」 結果、考察

仲澤ら(2014)による研究において「選手への愛着」は「クラブへの愛着」に負の影響を及ぼすとされているため、この項目においてもゴール裏で観戦しているサポーターの方がクラブへの愛着が強いと考察する。

「クラブへの愛着」 結果、考察



「クラブへの愛着」の

Q6. 「私は、横浜FCの選手よりも横浜FCというクラブが好きだ」という項目において5%水準で有意な差が認められた。

また7つすべての問でゴール裏で観戦しているサポーターの方がクラブへの愛着が強いという傾向が見られた。

結果

6つすべての要因において、ゴール裏で観戦しているサポーターの方が

メインスタンドやバックスタンドで観戦しているサポーターよりも

クラブへの愛着が強いという結果が見られた。

結論

ゴール裏で声を出し応援をしているということは、それだけクラブのために必死になれるということであり、試合を観戦しに来ているという要因だけではなく応援しに来ていることから「クラブへの愛着」が高くなっているという結論になった。

結論

メインスタンドやバックスタンドで観戦しているサポーターの中でも、ゴール裏で声を出して応援したいけど、ハードルが高く感じているサポーターも多く存在していることが分かった。

結論

そのため、

ゴール裏の応援の中心はどのような状況でも、選手を後押しし続ける
姿勢でいることで座席に関係なく応援しようという気持ちを
引き立てることができると思う。

結論

その姿勢が、

スタジアム全体で一体感を持った雰囲気を作り上げる

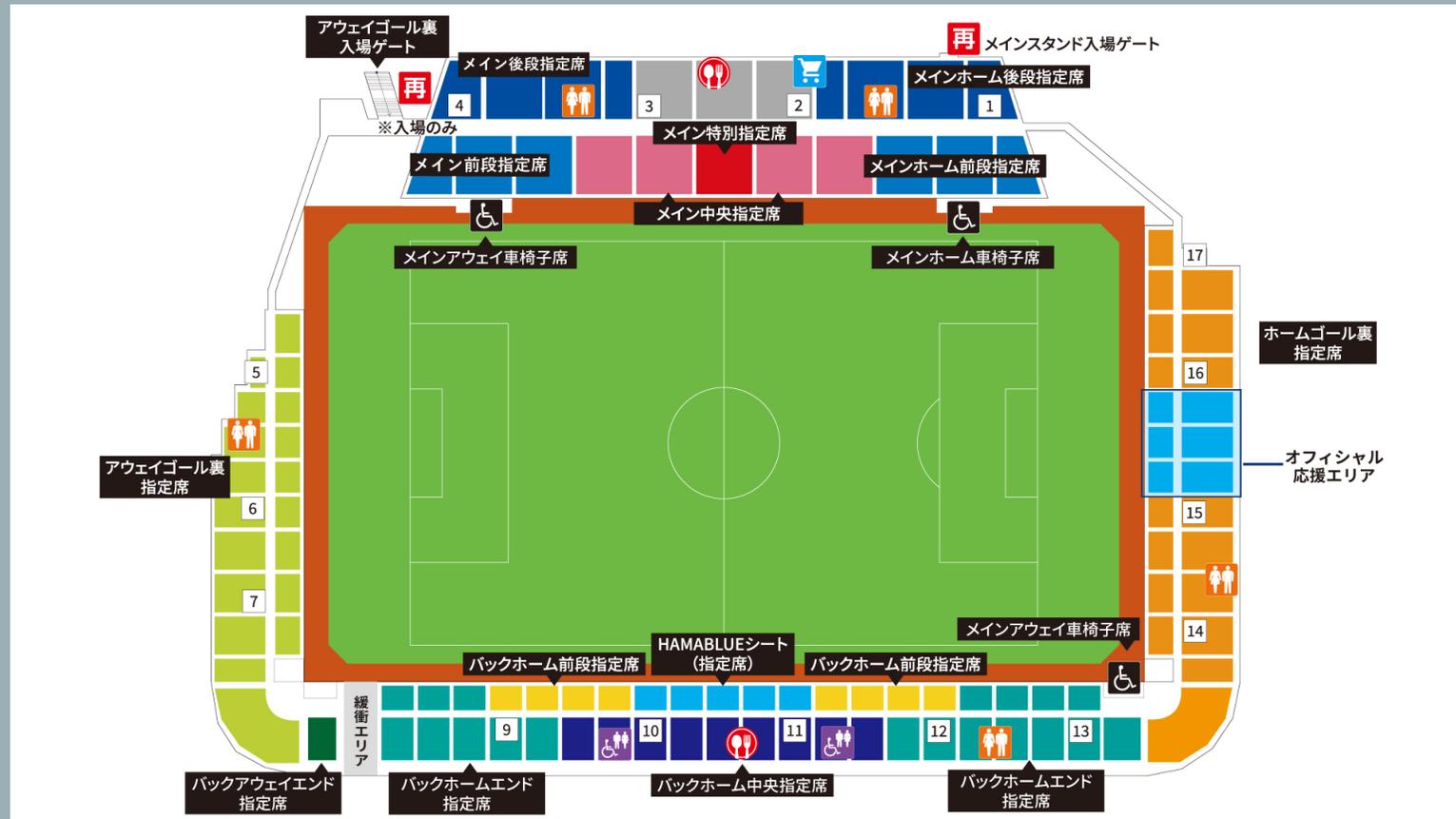
一歩となれるという結論に至った。

引用文献・参考文献

- ・ 齋藤温貴(2023年) 横浜F・マリノスゴール裏で応援している人の現地観戦行動の動機や目的について～現地観戦の魅力とは～
- ・ 仲澤眞, 吉田政幸, 岩村聡(2014年) Jリーグ観戦者の動機因子：Jリーグの導入期における二次的データの検証__スポーツマネジメント研究, 第6巻, 第1号：17-35
- ・ 仲澤眞, 吉田政幸, 岩村聡(2014年) ファンコミュニティの絆：プロスポーツにおけるファンコミュニティ・アイデンティフィケーションの先行要因および結果要因の検証__スポーツマネジメント研究, 第7巻, 第1号：23-38
- ・ Matsuoka H.(2014).Consumer involvement in sport activities impacts their motivation for spectating. Asian Sport Management Review,7:99-115.
- ・ ニッパツ三ツ沢競技場座席表：横浜FCオフィシャルウェブサイト
<https://www.yokohamafc.com/ticket/price/>
- ・ 年度別入場者数推移：J.LEAGUE Data Site
<https://data.jleague.or.jp/SFTD12/search?competitionFrameName=%EF%BC%AA%EF%BC%91%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B0&teamFlag=1&page=&startCompetitionYear=2023&endCompetitionYear=2023&competitionFrame=1>
- ・ 横浜FCの歴史：横浜FCオフィシャルウェブサイト <https://www.yokohamafc.com/ymca/%E6%A8%AA%E6%B5%9Cfc%E3%81%AE%E6%AD%B4%E5%8F%B2/>

ご清聴ありがとうございました。

座席表



出典：yokohamafc.com